

'00

第九

のべおか第九だより(号外)
2000年4月16日(日)

発行 のべおか「第九」を歌う会
事務局(延岡総合文化センター内)
882-0852 延岡市東浜砂町611番地2
電話(0982)22-1855



@末廣先生の指導(4月9日)

その付近の注意... 総合・ソプラノ・アルト・テノール・バス
その部分の注意... 総合・ソプラノ・アルト・テノール・バス
...お話

(ほかのパートの注意でも関連があります。全部読んでください。)

【お話】ソプラノが少ないですね。本番もこんな感じ?(アルト)ずいぶん多いですね。(笑)

237 【~】始める前に。たぶん言葉が難しいので、“der”って単語ですね、これを“ディール”って発音するのが凄いはやってみて、そうやると全然別の意味になってしまいますので、“デル”って言ってください。ただ、“e”の母音が“イ”に近いほうが音がきれいなので、若干狭い“e”を発音しますけれども、“ディール”って歌われちゃいますと全然違う“あんたの”って意味になっちゃいますから。意味が違うのでそれだけお気をつけてください。それから“al-le Men-schen”です。“アーレ...”じゃなくて“アッレ...”。舌をつける時間をもって。それと...じゃ、やりながらいきましょうか。



238 【Freu-de!~】あの、どうぞ怒らないように。(笑)どこでもお願いするんですが、長い時間待ったあとでこれ歌うと、たいがいみなさん恐い顔してるんですね。歌い出す前にできあがっててください。

257 【Dei-ne Zau-ber~】ちょっと歯切れ良すぎじゃありませんか?“Dei ne Zau ber”ってハイルヒットラーみたい(笑)。もっとなめらかに。.....一番大事な単語はこの一節の中で。“Brüder,”。人類愛ですから、“alle Menschen werden Brüder,”を大事に歌おうと思ってください。



257 【Dei-ne Zau-ber】“Dei-ne”の“ア”の母音をもっと深く。音がすぐ切れている。.....ごめんなさいね、今は都はるみのようなんですが。下からしゃくらずに。

258 【bin-den wie-der,】“bin-den”後ろの音、大事。(259小節の“die”も)“wie-der,”“デー”って英語の“er”にならないで。

258 【お話】私、最初に白状しますが、巻き舌ってのができないんですよ。ドイツ語はしゃべれるんですけどね。みなさんにはお願いするんですが、巻き舌はしてください。

260 【streng ge-teilt; al-】 “-teilt;” もう唾、ペッペ飛ばしていいですからね（笑）。私にはかかりませんので。

262 【wer-den Brüder,】 “wer-” “ヴェー”。“ヴィー”ってならないように。

263 【wo dein sanft-ter】 “n”がある“dein”とか“sanfter”を短く歌わないように。

284 【Ja,】 “Ja,”の後、切ります。“そうだ”というところ。別個にします。“ヤーベル”じゃなくて。
.....もっと断定的に“Ja,”。“wer”と下に行く前に隙間を。



286 【ei-ne_ See-le_~】 テナーが（音程）随分怪しいです。

286 【ei-ne See-le】 8分音符で動いているところ、後ろの音をちゃんと歌ってくださいね。

287 【sein nennt auf dem】 “dem” “デイン”って歌ってらっしゃる人がいる。“デム”。

287 【sein nennt auf dem】 “dem”の音程、大事です。

287 【sein nennt auf dem】 “sein”の“n”が聞こえない。“ザイン”って聞こえる。“ザイン ネット”口を閉じてください。“dem”。



288 【Er-den rund! Und】 “-den”の音程。高めに。

288 【お話】 犬って単語、知ってます？ダックスフントっていう。あの“フント”というのは“h...”なんですよ。で、僕らが言うと“f...”になるんですね。日本人なかなかできないんです。僕も向こういくとすごくばかにされて、酒飲むと「おまえ“und”って言うてみる」って言えないんですよ。（フントと違って）“h”がないだけで“ウント”、“オ”に近く。そうすると声もいっぱい出ますから。

289 【_ wer's nie ge-】 “wer's” “ヴェルス”。“nie” “ニー”。これとっても大事です。

290 【konnt, der steh-le~】 decresc.せずに、dim.せずにそのまま歌って、次を柔らかく歌うように。pと思わないで柔らかく歌うように。

.....それにちょっとdim.かけるくらいに。みなさんね、たとえばcresc.するとき（重いものをこうやって持ち上げたようなとき）その重いものをドン！って置くんですよ、みなさん。こうやって（ゆっくり）持ち上げたら、こうやって（ゆっくり）降ろしますよ、音楽は。さっきのような歌い方はdim.してpがまたデカくなるんですよ。“wei-nend”（291小節）が一番やわらかくなるように。“nie”（289小節）を一番強く歌って、積極的にdim.しないとちょうど収まっていきません。

.....もうちょっと保つといいですね。今のようにはばまないで。ふくよかに。

.....次回来たときにはきっと忘れてるでしょうから（笑）dim.しないでください。しないで、しないでと思っているとちょうど良くなりますから。

290 【konnt, der steh-le】 “stehle” “シュティーレ” “e”なんですが、平べったく。“シュテュー



レ” じゃないですよ。

291 【wei-nend sich aus】（アルトだけ歌って）わかりました？
dim.してまたデカくなるでしょ！この状態です。みなさん（ほかのパートも）。



291 【wei-nend sich aus~】 “wei” にいくとき、そこでプレスしますね。してもかまいませんが、できるだけしないで “der stehle weinend sich...” と “-le” の音を “wei-” につなげて。今は “wei-” の音がそれに届いていない。

292 【die-sem Bund.】 “diesem” 口とじめるの大事です。



313 【Küs-se gap sie~】 みなさん、あんまり大合唱団にはならないんでしょうかね、この倍とかね。これぐらいの人数で歌ってらっしゃると、自然に4つずつの2拍ずつのところで息を吸いたくなるんですよね。そうすると聞こえてくる音楽は “タラララタララ” が “タ...タ...” 。人と違うところで吸ってください。

313 【Küs-se gap sie】 “gap” は “ガブ” です。 “ガブ” じゃなくて。..... “Kü-” “キュー” 。 “K...” 。

314 【uns und Re-ben,】 “Re-” 巻いてくださいよ。 “レーベン” というとは別の意味の単語になる。

315 【ei-nen Freund, ge-】 “Freund,” “フロイント” 速く発音すると “イ” がほとんど聞こえてこないんですよ。 “イ” を強調してください。

316 【prüft im Tod; Wol-】 “Tod;” 下のほうに降りていく。（聞こえない）

316 【prüft im Tod; Wol-】 聞こえてこないのは “Tod;” の “d” 。

318 【Wurm ge-ge-ben,】 “gegeben” あんまりみなさんおしゃれなことを考えないで。 “ゲゲーベン” 。 “ゲギー” つったり “ギゲー” つったりしないで。

319 【und der Che-rub】 “Che-” ここにsf。 “ケー...” 。“der” “ディール” ってますよ、みなさん。 “デェール” 。

320 【steht vor Gott,】 “steht” “シュティー...” じゃなくて “シュテェー...” 。“Gott” “ゴート...” とにかく子音だらけですからそれを強調してくださいね。何回も言いますが、つばペツペとばしてくださいね。前の方はもう不幸だと思って（笑）我慢してください。
..... “シュテェート フォル ゴート” 。



321 【und der~】 隙間をあけるように “und” “der” “Che-” “rub” ...。

324 【Gott, steht_】 “steht” という言葉がフライングしますね。 “steh...” と伸ばしたあとに “...t” を忘れないで。

326 【Gott,】 “Gott,” はffで。Gが3個ぐらいついていると思って。Gを強調して。

330 【Gott.】 これぐらい伸ばします。一息で歌おうなんて思わなくていいですからね。プレスとってください、カンニングプレスして。(Gott,) 1個も休まないで全部ffで。



411 【Lau-fet, ~】 男性のみなさん、慎重に見ていただきたいのは、休みがある音符と休みがない音符なんです。それを強調して歌いますから、楽譜をみておいてくださいね。(休みがあるのは、411,415,416,417,418,419,422,424,426...)

411 【Lau-fet,】 “ラオ...”。あのラオチュウって飲み物ありますでしょ。あの“ラオ...”。“ラウ...”っていわないで。そしてもうひとつは“-fet,”の“e”の母音はもうちょっと長いほうがいいですから。短すぎないように“ラオ-フェット”。同じ長さで。



414 【Bahn, _】 “バーアアーン_フロイディック...”ってノンプレスで歌うことができますかね？ここでプレスとるとつらいです。まあそう簡単に死にやしないですから、つなげてください。

415 【freu-dig,】 “フロイディック”(発音注意)。“...ディヒ”じゃなくて。これですね、“d”は“ク”なんですよ。基本的に。ホントは“フロイディック”なんですが、歌詞について発音しにくい(“ク”は発音しにくいので)言葉が次ぎにつながってるようなとき“フロイディッヒ...”ということがあります。これは単独で出てきて、プレスがとれますでしょ。だから“フロイディック”。

416 【wie ein】 (休みあり：後ろ)

417 【Held zum_】 切ってほしい。

419 【wie ein】 (休みあり：両方)

420 【Held_~】 2つ出てくるsf。“Held_”“Sie-”根性入れてください。



421 【_ zum】 “ツゥーン”。“ツゥームウ”って母音のウを入れないで。“ツゥームジューゲン”。

427 【wie ein】 (休みなし)

431 【--gen!】 “-gen!”って歌い終わったときに、胸はってるぐらいがいいです。中国の映画のポスターなんかでよくこうやって胸はって写ってるやつがあるでしょ。ああいう雰囲気で行きたいんですが。“-gen,”って落ちないように。

543 【Freu-de, ~】 sf.が出てくる音、とっても大事ですので、sf.がわかるようにこっち(客席)に伝わりたいのですが。それが何もなしに聞こえますよ。付けようとしなないように聞こえる。



544 【sch ner】 (ウムラウトの発音注意)

549 【ly-si-】 “ly-” (sf.注意)

553 【feu-er-】 “ly-” (sf.注意)

561 【bin-den】 “-den” 8分音符で動いている音が時々出てきますね。押しなおしていただきたいのですが... (563,577,584...)

561 【お話】 さっきと一緒に、プレスをすると(みなさんが)一斉にプレスをしますから。ベートーベンが歌手のことをあんまり考えていないんです。器乐的というかプレスするところないんですよ。無いのでね、プレスしないんです(笑)。プレスしないでください。逆にいうとプレスどこでもいいです。一緒にしないでくれということです。ヘトヘトにならないようにね。



566 【teilt; al-】 “teilt;” ここプレスとってください結構ですから。“teilt;” 短く切ってください。“アーレメンシェン...” みなさん“ア”が(時間を追うごとに)増えてくるんですね。最初から“アー!”。フライングして出る音ですから。

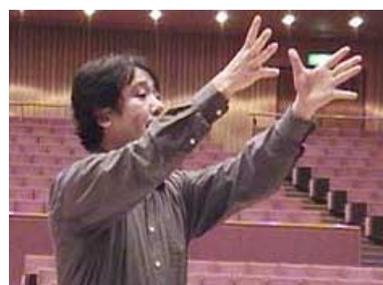
595 【Seid um-】 “Sei...” はバラバラと“i”に移っちゃいますので、“d um-”の直前まで伸ばしてズレないように。.....最初の“id”ですが、“um-”にくっつけます。“トゥム”。先に“ザイトウ”って言うてしまうと処理が難しいので、くっつけます。



596 【schlun-gen, Mil】 “Mil...” ですが、“M”が3個ぐらいついているように口を閉じてください。.....さっきの“Al-le”と同じように“Mil-li-”と弾まなければいけない。

600 【Kuß der】 “Kuß...” プレス。“der gan-zen Welt!” はつなげてください。.....“der” “デュール” みなさん! (発音注意) もう100% “ディーラ” になってますよ。

603 【Seid um-】 女性のみなさん、“Seid...” ってスパツとはいってほしいんですが。なんかちょっと勿体ぶって出ているようです。ピタッと出てくださいね。



611 【Brü-der!】 3拍の裏の4分音符、“ブリューウ デュール!” 1まで“エ”の母音を引っ張ってください。

612 【ü--berm】 “イーベルム”。(口を閉じる)。

615 【muß ein】 “s_” は“ein”にくっつけます。.....“ムー”は“モー”に近く。“モース”っていうとだめですよ。“オ”に近くで“オ”じゃないですから。唇閉じてください。“m”が3個ぐらいついているように勢いつけて。.....それ下からしゃくらないといいんですけどね。演歌のようです(笑)。



617 【Va-ter_】 “Va-ter_” は下唇をかめますか。

619 【Brü--der!】 (女性の方も) 3拍の裏の4分音符、さっきの男性と同じく、1まで引っ張ってください。

622 【zelt muß_】 パスが1拍早く“muß_”って出ますね。前の“zelt”の語尾をはしょってもらって結構です。“muß_”の準備を先にきちんとしてください。

623 【ein_】 “ein_”にはいるときもバスが先行しますから、
“mus_ein_”をくっつけて、はっきりと前に出てくださいね。



631 【Ihr_stürzt】 “Ihr_”って出たところみなさん、強さは何ですか？ p 1個です。（635小節の）“Ah-nest”が始まったところは pp です。ですから “Ihr_”って出始めたところを押さえすぎないように、十分に響かせてください。“Ihr_stürzt”、2拍目を目安にふくらんでください。
..... “Ihr_”って巻けますか？しつこいですが私できませんのでね（笑）。

633 【Mil-li-】 cresc.しっぱなしです、みなさん。歌い終わったあとにもふくらんでいてください。



635 【Ah-nest~】 オーケストラと一緒にやるとおわかりでしょうけれど、うんと耐えて歌います。どんどん先に先に（苦しいし、冗談じゃないって）歌いたいんですが、それをなんとか、ずっと耐えます。急がないでくださいね。

635 【Ah-nest】 “アーネストゥ”です。“アーネストゥ...ドゥ”と“t”を言い直さないで。これいいんです、言わなくて。“s”の音は“du”にくっつけます。
.....なんか色っぽいんですけど“Ah-...”なんとかありますかね（笑）。色気抜きで普通に“Ah-”と出れますか？...そうそう、そして息が聞こえないようにしてください。コレです色っぽい（笑）。そして一直線に“Welt?”まで。

635 【お話】 ちょっと余談ですが、ベートーベンって9曲、交響曲書いてるでしょ。ベートーベンというのは書き方のパターンというのがありまして、pからcresc.始めると、f 1個になるんですね。f 1個のあとに piu f になって、ff。音量が増すように普通は書くんですよ。反対にdecresc.するときはpから piu p、ppと。だんだん小さくなるようにベートーベンって書くんです。でも全く例外だらけなんですよ第九だけが、cresc.していったら f も piu f もなくいきなり ff までいかなければならない。かなり大きな cresc.だと思ってもらっていいですね。ただ徐々にではなくて爆発的に“Welt?”が ff になると思って。



639 【Such' ihn】 “ズーフ...”（発音注意）。“ズ...”というのは聞こえるようにしてください。
..... “...フ”も聞こえるように。



642 【お話】 ほら出てきましたでしょ。f それから ff。これが普通のパターンなんですね。

643 【Ü-ber】 “-ber”の時間をとります。

643 【Ü-ber~】 みなさん、みんな ff。私が書いたんじゃないですよ。ベートーベンが書いたんですからね。全部 ff

650 【ü-ber】（音程）“ソ...”。もっと高く。

650 【ü-ber】（音程）“ミ...”。



651 【ü-ber】 かなり（音程）怪しいですよ（笑）。“ラ...”

651 【ü-ber】（音程）“ド...”

654 【---nen.】（ピアノに）F叩いてみてください。Fあたりになると気合いがはいるんですよ。Aは気合いがはいてないので低いです。Fは出るんですからね。Aは出ないんじゃないんです。みなさんの耳の問題です。

654 【woh--nen.】（音が下がらないように）あと消費税分だけ高くなりますか（笑）。もっと。

655 【~】 “フローオーイデ,シェーエネール...” と長く。

655 【Seid_ um--~】 “ザーイトゥーム_シュルンゲン...” と。だから “シュルン_ゲン” とはやく切らないように。

655 【Seid_ um--】 ...狙ってる？みなさん。（下から上げてこない）
.....いろんな音がありますね（笑）。...急がない。

655 【~】 このテンポ（ゆっくり）でいきます。ですから、全部母音を長く歌います。

.....母音は長いですが、1個1個の音はマルカートに。

.....（みんなアルトの歌詞を発音して）“schlun-gen,” と

“Mi-li-o-nen!” のあとにプレスをとりますね。ですからそこだけやたら短いです。“Seid_” を “ザアー_” とタイを歌い直さないでできますか。

.....（みんなソプラノの歌詞を発音して）いちいち4分音符が小さいんですが、全部（2分音符と）同じ強さでどうぞ。全部、固く固く発音してくださいね。発音にはスピード、スピードがいます。

661 【~】 とくに “ガーアンツェーン_” です。“ア” と “エ” の母音を強調しておいてください。

662 【Seid_】（はいる音が低い）“Seid_”。惜しいですね。もうチョイ。もう腹すえて出てください。惜しいですねちょっと届かない。

664 【Göt-ter-fun-ken, ~】 時々出てくる “Freu-de!” という言葉がありますね。

特にアルトのみなさんは、ほとんど聞こえてくるのが無理なんですよね。でもあきらめないで。「どうせ聞こえない」と思わないように。くれぐれもどのパートも2分音符をつないでください。

“フロ...イデ” と切らないように。

670 【Hei-lig-tum! Seid_】 バスの人、1拍だけ早くはいるところがあるんです。これもうちょっとはっきりとフライングしてほしいんですけど。前に、はっきり出てください。

711 【Mil--li--~】 アルトのみなさん、“Mil-li-o-nen!” って



徐々にメロディが出てくるところがありますね。

その前の音がほとんど聞こえてこないんです。そのメロディのところだけは聞こえてくるんですけど。メロディから下に落ちると、また何も聞こえてこなくなる…。下の音も十分にください。

729 【_】 伸ばしているAの音は、“Welt,” って単語ですから、“It,” をお忘れなくお歌いください
ね。長く伸ばしていると、何の単語だかわからなくなってしまおう。

730 【Ihr stürzt~】 男性のみなさん、2分音符をもうちょっと長く
保ってほしいんですが。全員いっしょになると問題ないんですが。

733 【o--nen?】 “ネン” じゃなくて“ネエン” です。“ネエン_ア
ー” と(テノールに)つながるつもりでください。

734 【Ah--nest】 テナーのみなさん、息混ぜないでくださいね。た
め息の“あぁ~” に聞こえますから(笑)。

746 【-der!】 “-der,” (の音量) を控えます。次(748小節)も。

753 【zelt muß_】 “Ster-nen-zelt!_mu” とつないでいただけるとあ
りがたいです。今は“zelt!” で激しく切れている。

762 【-nen.】 (音が低い)

795 【Dei-ne Zauber,】 みなさんのね、“ダイネン…” って聞こえるんですよ。“ダイネーツァウベル
…”。切りすぎるからです。

809 【Men-schen,al-le】 みなさん2度(829小節)とも、Poco adagioに行く前はテンポを落とさない
でください。そのままつっこんでください。

814 【_】 2拍目ですよ、切るの。

832 【Men-schen!】 Poco adagio の2拍目の部分(ゆっくりにします) “アーレメンシェン” って(伸
ばさずに)歌ってるのが多かったですか? そういう古めかしいこ
とをやってる方々がいる(笑)。……なんかねえ、色っぽいです
(笑)。そんなに(ドイツ人は)上品な国民じゃないですから。
普通に言い切ってもらったほうがいい。

855 【Seid um-schlungen,】 早口言葉みたいで大変なんですが…

857 【Die-sen Kuß der】 “der” みなさん、“デェル…” (発音注
意)。日本中どこいっても、ほとんど染みついているのでいらい
らしてしょうがないです。

858 【gan-zen Welt!】 “Welt!” を伸ばさないでください。

859 【der】 食いつきを固くください。

863 【_】 (次の小節の) “Brü-der!” までノンプレス。

881 【Kuß der】 “デェル” みなさん(発音注意!)。罰金とりませ
んか、罰金! すぐ飲み代が出ますよ(笑)。



887 【Welt! Die-】 “Welt!” という単語に ff が出てきますが (891小節も) 意味はアクセントです。このアクセントつけている “Welt!” とこだけが普通にプレスをとる前なので、やたら短くて小さいんですよ。“ヴェールト” とできるだけ長く歌ってください。できればそこでプレスはとっていただかないほうがいいです。“エ” の母音を長く歌ってください。

895 【gan- ~】 ... (スタッカートで歌った歌を聞いてしばらく考え込み) 私、初めて聞いたなあ、そういうふうで歌うの。思わず悩んじゃう。音符の長さがないと音量も出てこない。軽く切っても聞こえてこないの、 “ラタタタタタタァ...” と歌えますか? “ラッタッタッタ...” じゃなくでできますか?
.....全部 “ア” を付けて歌ってみましょう。



895 【gan- ~】 ... (アルトだけ音をつなげぎみに歌って) 今とさっきの間ぐらい。

895 【お話】 (スタッカートで歌うのは) たとえばモーツァルトだったらいい。ここはオーケストラがしゃかりきになって弾きまくってますんでね、たぶん今までの切り方 (歌い方) だと聞こえてこないですよ。

897 【--】 それ (上がった音) 何の音? ... “ミ” の音。ほとんど今は何の音だかわからないですよ。... それから音域でもって首が (上下に) 動くのをやめてくださいね (笑)。

897 【--~】 まるでテナーいじめですね、この部分。

897 【--】 一番最後の “ラ” の音、タイなんですよ。 “ドーシソミドラソミドララ...” ここ世界中のボーカルが間違えてるんです。(次の小節へ) タイをかけてほしいんです。意味わかりますか? “ララー” と最後は2個歌わないということです。これ、直らないかもしれない。



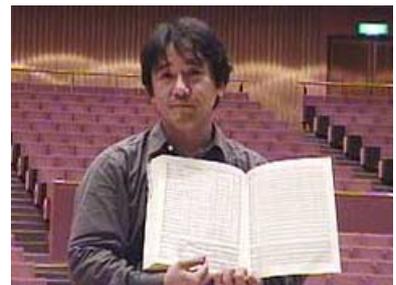
903 【Welt!】 みなさん、ここは長いんです “Welt!” が。

915 【Toch-】 これ出遅れないようにキビキビといってください。

916 【-ter aus E-】 “aus” みなさん “アース” って聞こえます。“アース”。
..... “E-ly-si-um!” とちゃんと歌にしてほしいんですが。ここもやたら色っぽいですよね (笑)。ポ~っと力が抜けている。もっと男性的に。



919 【Göt-ter-fun-ken! Göt-ter】 Prestissimoにはいる前のこの部分は感動的に盛り上がりたいたいでしょうけれど、キビキビ歌ってください。みなさん、スコアごらんになったことありますか? これだけ真っ黒になって “ラタタタタタ” と弦楽器が進んでいるんですよ。どう見ても “ラァタァタァ...” とは弾けない。それでテンポが60なんです。弦楽器は機関車のように進んでいるんです。歌うほうはキビキビと重くなりすぎないように歌います。



920 【fun-ken!】 みなさん (前の小節と) 同じテンポなんですよ。“ゲーッテル_フンケン!” と後ろを早く歌わないように。

【お話】次回の練習は、655小節から始めます。ドッペルファーガから。それではいい演奏会になるように、次回もまた練習しましょう。お疲れさまでした。



編集後記

久しぶりの第九だよりの編集でした。それもビデオテープの文字おこし。

メドフォードの練習の場合は、みなさんの“ひとこと”をまとめていませんので、中途半端な部分で紙面が終わってしまいました。

末廣先生の指導は指摘の量も多く、その内容も今までの我々の歌い方とは違ったものでした。

これらをみなさんお持ちの楽譜に写していただいて練習に励んでいただきたいのですが、記入される場合は、これまでの先生方の指導とごちゃ混ぜにならないように各自配慮してください。

私は心機一転、末廣先生の指導を書き込むための新しい楽譜（メドフォード公演用）を買おうかと思っています。【munenori@horita.gr.jp】